

< 添付資料 1 - 1 >

2007年度事業報告書

自 2007年4月 1日

至 2008年3月31日

特定非営利活動法人 開発教育協会（DEAR）



1. はじめに ~ 2007年度を振り返って ~

今年度は設立25周年を迎え、四半世紀をふり返り、その活動の成果を見直すと共に、今後の展望を中長期的に検討する1年となった。

そうした中で今年度の重点方針として掲げた4つの課題に関しては、それぞれに成果を残すことができた。また、年度当初に計画した「運動系」「研究系」「創造系」の3つの事業領域においては、概ね事業計画通りに各種事業を実施することができた。

これら重点方針に関する新たな成果として、次の5点を取り上げて、今年度のハイライトとして紹介しておきたい。

1) 中期方針の策定

設立25周年を迎えた今年度の重点方針として「中長期的なミッションやビジョンの検討」を第一項目として掲げた。この課題を検討するために、7月に「ミッション検討委員会（後に『中期方針検討委員会』と改称）」を発足させ、改めて当会の25年の歩みをふり返り、組織として継続的に発展していくためには、どのような使命や問題意識を持ち、それらにどう取り組んでいくか（中期方針）を検討していくこととした。

その後、計7回の同委員会を開催して、中期方針案を作成したが、その作成に際しては、会員や役員から広くDEARの果たすべき役割などを募り、同委員会の中で、中期的な視野をもつ実現可能な要素を取り出し、以下の5つの柱からなる基本的な活動方針を作成した（別紙「2008/12中期方針」参照）。

グローバル化による諸課題を「足もとの課題」から捉える視点の提示

学校教育へのモデル事業の提案

国際協力NGOとの協働プログラムの実施

地域との有機的ネットワークの再構築

組織基盤の強化

今後5年間はこの中期方針をもとに、事業計画を作成し、実施していくこととなった。

2) 25周年記念事業の実施

2007年12月22日（土）に、設立25周年を記念した「DEAR設立25周年記念公開フォーラム『100人の村の未来を語ろう』」をJICA地球ひ

ろば（東京・広尾）で開催し、約200名の参加者を得た。（特活）コモンビートのオープニング・パフォーマンスや理事有志による寸劇をはじめ、国際政治学者のダグラス・ラミス氏の講演やグループ・ディスカッションなどを通して、参加者とともにDEARの25年をふり返り、これからの展望を描く機会となった。

3) 「持続可能な開発」グローバル・ワークショップの開催

重点方針に掲げた「新たな課題への取り組み」に関しては、東南アジア大衆コミュニケーションプログラム（SEAPCP）のジョ・ハン・タン氏を招き「市民主体による地域課題解決に向けて」をテーマとするワークショップを北海道、沖縄、小豆島、東京の4ヶ所で開催した。またワークショップの資料として、『Get Organized』の翻訳作業を立教大学ESD研究センターとの協働で行い、邦訳版を3月に発行した。

4) 「紛争解決教育」研究会の実施とワークショップの開催

同じく「新たな課題への取り組み」として、アメリカのNPO、モーニングサイドセンターのトム・ロドリック氏を招き、8月7～8日に「対立から学ぶワークショップ」を開催し、40名の参加者を得た。肯定的な学習環境づくりや気持ちを認めるコミュニケーションの重要性を説き、様々な現場で実施しやすい方法を学ぶ機会となった。

また、4月から全6回で、ニューヨークにおける紛争解決教育を体験し、日本の現場でどう活かしていくかを考える研究会を開催した。その後、有志メンバーで、「対立から学ぶ教育に関するアンケート」を実施した。さらに3月には紛争解決教育研究会（CR教育研究会）が主体となりワークショップを開催し30名の参加者を得た。

5) 教材『ケータイの一生～ケータイを通して知る私と世界のつながり』の発行

以上のような新たな取り組みを進める一方で、調査研究や国内ネットワークなどの基幹事業も継続的に実施した。その中でも今年度は新たな教材として、「携帯電話」を題材に日本と世界の関係や南北問題をテーマとする標記のものを作成・発行した。誰もが身近に感じる「携帯電話」を題材

にしたことで話題性も高く、今後は有力な開発教育教材として広く活用されることが期待できる。

2. 各種事業報告

／運動（ムーブメント）系事業 ～開発教育を「ひろげ・ささえる」ために

1)「政策提言」事業

JICAに対する政策提言

NGO関係者とJICA（国際協力機構）担当部局との定期協議の場である「NGO-JICA協議会」および、その中の「開発教育小委員会」を通じて、JICAが行う各種開発教育支援事業やJICA国内機関との連携協力などに関する政策提言や政策協議を行った。

なお、JICAとJBIC（国際協力銀行）の統合のため、1998年度から始まった同「協議会」は2008年9月をもって、また、翌1999年度から始まった同「小委員会」は今年度末をもってその活動を一旦終了することとなった。

次年度以降、JICAに対する政策提言をどのように展開していくかが検討課題である。

2)「国内ネットワーク」事業

「担い手」連携協力強化事業

各地域ブロックの担い手（団体・個人）との連携協力しながら、ネットワークの維持強化や協働事業の実施に努めた。具体的には、これまで懸案となっていた各地の「担い手団体」をはじめとする開発教育実施団体の連絡先等の基本情報を掲載した「全国リソースマップ」をウェブ上に準備し、これら団体の存在やその活動を広く紹介していくツールとしていくこととした。（なお、同「マップ」は、2008年4月に公開。）

第4回「開発教育全国ネットワーク会議」

第4回目となる「開発教育全国ネットワーク会議」を3月1～2日の日程で富坂キリスト教センター（東京・小石川）にて開催、43名が参加した。「国内・地域の開発問題と開発教育」を共通テーマに、各地の現状や今後に向けた課題等が議論された。詳細に関しては、別途発行の報告書を参照のこと。なお、本事業の実施に際しては、地球環境基金からの助成を得た。

3)「ESDフォーラム」事業

「持続可能な開発」グローバル・ワークショップ冒頭の「1.はじめに」の3)で報告の通り、マレーシアからジョ・ハン・タン氏を招聘し、以下の通り、標記のワークショップを各地で開催した。なお、本事業の実施に際しては、国際交流基金からの助成を得た。

<札幌ワークショップ>

テーマ：「ニサッタ・グス・チャランケ～明日のための話し合い」

日程：2007年10月6日（土）～8日（月）

会場：札幌留学生交流センター（北海道札幌市）

共催：北海道開発教育ネットワーク

<沖縄ワークショップ>

テーマ：「参加」とは？～東南アジアに学ぼう～」

日程：2007年10月13日（土）～14日（日）

会場：沖縄国際大学厚生会館（沖縄県宜野湾市）

共催：(特活)沖縄NGO活動推進協議会

<小豆島ワークショップ>

テーマ：気楽な意見交換会～ESD編

日程：2007年10月24日（土）～25日（日）

会場：小豆島ふるさと荘（香川県小豆郡土庄町）

共催：(特活)いきいき小豆島

<東京ワークショップ>

テーマ：「参加型学習・参加型開発ファシリテーター研修～東南アジアの取り組みから学ぶ」

日時：10月20日（土）10:00～17:00

会場：立教大学5号館

協力：立教大学ESD研究センター

<東京セミナー>

テーマ：東南アジアの持続可能な社会作りの試み

日時：2007年10月19日（金）19:00～21:00

会場：立教大学5号館

協力：立教大学ESD研究センター

4)「海外ネットワーク」事業

ピン川保全協会関係者の日本訪問受入事業
当会では過去3年間にわたって、タイ・チェンマイでESDをテーマとした合同セミナーを実施

してきた。今年度は、現地のカウンターパートであるピン川保全協力協会の関係者9名の日本訪問を10月に受け入れ、日本でのESDの取り組みを紹介するとともに、学校関係者等との経験交流を行った。なお、本事業の実施に際しては、立教大学ESD研究センターの協力を得た。

「英国開発教育セミナー2007」

< 主管：大阪事務所 >

2004年と2005年の夏に実施し、多くの学びと新たな教材開発などの成果を得た「英国開発教育スタディツアー」を発展させ、今年度は「英国と学ぶ」持続的な関係性（日英相互の開発教育実践の蓄積と課題から相互に学び合うスタイル）を模索することも目的に標記セミナーを以下の通り、実施した。

< 実施概要 >

日程：8月12日(日)17:00現地集合

8月16日(木)16:00現地解散

会場：ヨーク・セントジョン・カレッジ（英国ヨーク市）

講師：マーゴ・ブラウン氏（グローバル教育センター）、デイビッド・ブラウン氏（セントジョン大学副学長）、他。

内容：「英国の市民教育」「フェアトレード」「メディア・リテラシー」「タウントレイル」他
参加者：13名（現地参加2名を含む）

5)「広報・記念」事業

「教育のゆめ基金」奨励金交付事業

会員による開発教育事業を支援する目的で、「教育のゆめ基金」の一部を活用した奨励金交付事業を行った。今年度の助成対象事業は次の通り。

また、当会の25周年を記念して発行した会報「DEARニュース」の特別号の編集印刷経費、および当会の「講師派遣プログラム」の広報用パンフレットの制作費を本「基金」から支出することとした。

なお、当会の20周年を記念して設置した本事業は本年度をもって終了することとした。

< 本年度助成対象事業 >

事業名：「先住民族の歴史と権利を学ぶワークショップ教材の制作」

助成額：23万8千円

申請者：ティフプロジェクト（グループ申請）

事業名：「日韓地球市民教育交流」

助成額：10万円

申請者：(特活)地球の木（団体申請）

「設立25周年記念事業」

冒頭の「1.はじめに」の2)で報告の通り、標記事業として「開発教育協会設立25周年公開記念フォーラム」を以下の通り実施した。

< 実施概要 >

テーマ：「100人村の未来を語ろう～ダグラス・ラミスさんを迎えて」

日時：2007年12月22日(土)

フォーラム：14:00～17:30

パーティ：18:00～20:00

会場：JICA地球ひろば（東京・広尾）

参加者：約200名（当会関係者を含む）

内容：

1. オープニング・パフォーマンス
(by コモンビート)
2. 開会式・オリエンテーション
3. 25年の世界の動きと開発教育の軌跡を振り返る (by 佐藤友紀・木下理仁)
4. 講演「100人の村の未来を語ろう～ラミスさんと考えるこれからの開発と教育」
5. 全体討論とグループディスカッション
6. パーティ「開発教育の"夢"を語ろう」

「中期方針」検討事業

冒頭の「1.はじめに」の1)で報告の通り、標記事業として「ミッション検討委員会（後に『中期方針検討委員会』と改称）」を設置して、計7回の委員会活動を実施した。

< 活動実績 >

第1回：7月16日(祝)12:00～16:00

場所：JICA本部

第2回：9月9日(日)10:00～16:30

場所：新宿パークタワー会議室

第3回：10月5日(金)19:30～21:30

場所：早稲田大学39号棟

講師：坂口和隆氏（(特活)シャプラニール＝市民による海外協力の会事務局長）

第4回：10月14日(日)10:00～15:00

場所：JICA地球ひろば

第5回：11月17日(土)10:00～15:00

場所：JICA地球ひろば

第6回：12月15日(土)10:00～16:00

場所：JICA地球ひろば

第7回：12月22日(土)10:00～12:00

場所：JICA地球ひろば（評議員会と合同）

**／研究（リサーチ）系事業
～開発教育を「かんがえ・ふかめる」ために**

1)「調査研究」事業

「開発教育研究会」

a)「ESD・開発教育カリキュラム」部会

昨年度に引き続き、ESD（持続可能な開発のための教育）をはじめ、「剥奪としての貧困論」や「参加型開発」などの今日的課題に照らした新しい開発教育のカリキュラム作成をテーマとする部会活動を行った。なお、本事業は地球環境基金からの助成を得た。

<活動実績>

（場所はいずれも立教大学田中研究室）

第1回：4月21日(土)18:30～21:00

発題者・テーマ：藤原孝章氏「国際理解教育学会のカリキュラム検討」

第2回：5月28日(月)18:30～21:00

発題者・テーマ：小貫仁氏「開発教育カリキュラムの系譜と今日の課題」

第3回：6月28日(月) 18:30～21:00

発題者・テーマ：藤原孝章氏「イギリスのCitizenship教育」

第4回：7月23日(月)18:00～21:00

発題者・テーマ：田中治彦氏「これまでのまとめと今後に向けて」

第5回：9月17日(祝)17:00～21:00

発題者・テーマ：山西優二氏「ESD・開発教育の具体的なカリキュラム像」

第6回：10月24日(水)18:00～21:00

検討課題：「各地域に訪問するにあたって～具体的なカリキュラム像を描く」

第7回：12月11日(火)19:00～21:00

検討課題：「地域を訪問しての報告」

第8回：2月19日(火)19:00～

検討課題：「全国ネットワーク会議の分科会の内容について」

b)「紛争解決教育」部会

冒頭の「1.はじめに」の4)で報告の通り、標記の研究部会活動を以下の通り実施した。なお、本事業は、明治学院大学国際平和センターの協力

を得て実施した。

<部会活動実績>

第1回：4月26日(木)18:30～21:00

テーマ：対立に向き合う

第2回：5月10日(木)19:00～21:30

テーマ：感情に気づく・認める

第3回：5月24日(木)19:00～21:30

テーマ：相手の話を聞く

第4回：6月7日(木)19:00～21:30

テーマ：創造的な問題解決

第5回：6月21日(木)19:00～21:30

テーマ：創造的な問題解決

第6回：7月5日(木)19:00～21:30

テーマ：プログラムづくり

c)その他の研究部会

当初実施予定した「開発教育授業研究」部会および「MDG市民キャンペーン研究」部会は、実施体制が十分に整わないなどの諸般の事情により、実施することができなかった。

第25回「開発教育全国研究集会」の開催

「学びの場の再考～協力的な関係づくりをとおして」をテーマに8月4日(土)から5日(日)までの2日間の日程で、「地球市民かながわプラザ」（横浜・本郷台）を会場に全国研究集会を開催。参加者数は講師や主催関係者を含めて250名。なお、詳細に関しては、別途発行の報告書を参照のこと。

研究誌『開発教育』の編集発行

第54号を10月に明石書店から発行した。特集は「参加型開発と参加型学習」。また、来年度の第55号の発行に向けた企画編集作業を行なった。

**／創造（クリエイティブ）系事業
～開発教育を「つくり・つたえる」ために**

1)「情報・メディア」事業

会報「DEARニュース」の編集発行

開発教育の関連情報をはじめ、DEARや各地の「担い手」などの活動状況を紹介することを目的とした会報を今年度も年6回（偶数月）発行した。さらに、設立25周年を記念した「特別号」を

130号別冊として発行。25周年記念事業の際にも広く頒布した。

< 発行実績 >

- ・第126号（発行：4月1日）
特集「フィリピンで多発する「政治的殺害」」
- ・第127号（発行：6月1日）
特集「子どもの権利ベース・アプローチで子どもはどう変わるか」
- ・第128号（発行：8月1日）
特集「新たな局面を迎えるアフリカの紛争ダイヤモンド問題」
- ・第129号（発行：10月1日）
特集「公共事業と市民参加」
- ・第130号（発行：12月1日）
特集「チョコレートと児童労働」
- ・第130号別冊25周年特別号（発行：12月1日）
特集「英国のグローバル教育の展開と今後を語る」
- ・第131号（発行：2月1日）
特集「ネグロス飢餓支援から「民衆交易」そして「地産地消」へ

2) 「出版・制作」事業

新規教材図書の企画編集と制作発行

開発教育に関連する次のような新規の教材や図書の企画編集や制作発行を行なった。

a) 教材『ケータイの一生～ケータイを通して知る 私と世界のつながり』制作・発行

冒頭の「1. はじめに」の5)で報告の通り、標記教材を本教材の原作者と共同制作した。なお、本事業は、地球市民アカデミア・ファンドからの助成を得て実施した。

< 教材概要 >

企画・制作：

石川一喜（拓殖大学国際開発教育センター）

西あい（開発教育協会）

吉田里織（高校家庭科教員）

発行：開発教育協会

発行日：2007年12月20日

判型・頁数：B5判・44頁

対象：中学生以上

b) その他の新規教材図書

当初予定した訳書『参加型開発実践ハンドブッ

ク：PRA/PLAの理論と方法論（仮題）』は、今年度内に翻訳作業を終えることができ、2008年7月に明石書店からの発行を予定している。同じく訳書の『グローバル時代の教員養成：英国における大学と教育NGOの連携（仮題）』は、年度内に編集・監訳の作業が滞ったが、2008年秋の出版を予定している。その他、当初予定した教材『世界がもし100人の村だったら2』については、実施体制が整わないなどの諸般の事情により、制作を見送ることとした。なお、対立解決をテーマとする実践ハンドブックに関しては、英文テキストの翻訳の可能性を探り、次年度に具体的な翻訳作業に取りかかることとした。

出版物販売

当会発行の教材・図書資料の他、関係団体からの委託図書などを販売し、自己財源の強化を図った。特に年度末に大量購入のキャンペーンを実施し、購入を促した。

既存教材の改訂増刷

a) 開発教育教材『コーヒーカップの向こう側～貿易が貧困をつくる?!』

05年に発行した同教材が在庫僅少となったことから、8月にこれを1000部増刷した。

b) 開発教育教材『お弁当屋さんゲーム』

07年に発行した同教材が在庫僅少となったことから、2月にこれを500部増刷した。

3) 「研修・講座」事業

講師派遣事業

政府機関・自治体・教育委員会・学校/大学・自治体国際化協会・NGOなどからの講師派遣依頼に対して、DEARの役職員等を講師として計83件152回派遣した。

「2007年度開発教育セミナー」

< 主管：大阪事務所 >

今年度は「関西から発信！私たちのくらしとESD（持続可能な開発のための教育）」をテーマに、全6回のセミナーを以下の通り実施した。

< 開催実績 >

日程：下記の通り

会場：大阪国際交流センター（大阪市天王寺区）

共催：(財)大阪国際交流センター / (独)国際協力機構 (JICA) 大阪センター
後援：大阪府教育委員会 / 大阪市教育委員会 / (特活)関西NGO協議会 / きんき環境館 / (特活) 持続可能な開発のための教育の10年推進会議 (ESD-J) / ESD関西

内容：

第1回：9月30日(日)14:00~17:00

「セミナーを始めるにあたって：みんなで創っていくために」佐藤友紀氏(大阪府立四條畷高校)「持続可能な開発・共生・人権 ~ジェンダーを中心に~」三輪敦子氏(ユニフェム大阪)

第2回：10月20日(土)14:00~17:00

「パーム油のはなし~環境にやさしいってなんだろう~」荒川共生氏(アジアボランティアセンター) / 中西宣夫氏((株)サラヤ研究調査員)

第3回：11月21日(水)18:30~20:30

「食と交通と環境を学ぶ フードマイレージ買物ゲーム」林美帆氏(あおぞら財団) / 松井克行氏(大阪府立三島高校)

第4回：特別編「教材体験フェスタ」

<日時>12月16日(日)10:00~17:00

<内容> A「世界がもし100人の村だったら」(友前尚子氏・京都府立中丹養護学校) / B「レヌカの学び、旅の相互性」(佐藤友紀氏・大阪府立四條畷高校) / C「わたしん家(ち)の食事から」(大森容子氏・(財)滋賀県国際協会 / 奥村ルシア克子氏・国際教育研究会Glocal net Shiga) / D「フォトランゲージ」(丸山まり子氏・奈良県安堵町立安堵小学校) / E「貿易ゲーム」(荒川共生氏(特活)アジアボランティアセンター)

第5回：1月16日(水)18:30~20:30

「世界とつながる日本の食卓~日本の農村はどうなっているのか~」松平尚也氏(アジア農民交流センター)

第6回：2月17日(日)14:00~17:00

「ピン君に何が起きたのか~他文化がせめぎあう社会を多文化が共生できる社会に変革するために」山中信幸氏(柳学園中学高校)

市民フォーラム「こころの開発・宗教・地球市

民(第3期)」

2005年度と2006年度に実施した標記フォーラムの第3期目となるプログラムを計画したが、実施体制等が整わず、諸般の事情により実施を見送ることとした。

「平和ワークショップ~核問題を切り口に」核問題活動家のK・サリバン氏のワークショップを明治学院大学の協力を得て、4月21日に実施した。参加者数は40名。

「対立解決教育」研修会

「対立解決教育」部会の活動と並行して、ワークショップ形式の研修会を下記の通り実施した。

“対立”から学ぶワークショップ

テーマ：「学校・地域で活かす創造的な問題解決~米国ニューヨークのNPOの取り組みから」

日程：8月7日(火)10:30~17:00

8月8日(水)10:00~16:30

会場：立教大学太刀川記念館

助成：国際交流基金 日米センター

講師：トム・ロドリック氏(米国NPO、モーニングサイド・センター)

内容：「Morningside CenterとRCCPIについて」「教室づくりのアイデア」「対立の概念・様々な対立の対処法」「気持ちを認める」「ウィン・ウィン解決法」「ふりかえり」など。本ワークショップの詳細については、別途発行の報告書『対立から学ぶワークショップ 報告&アクティビティ集』を参照のこと。なお、本事業は、国際交流基金日米センターからの助成を得て実施した。

“対立”から学ぶワークショップ

テーマ：「創造的な問題解決のために」

日程：3月29日(土)10:30~17:00

3月30日(日)10:00~16:30

会場：富坂キリスト教センター2号館

講師：中村絵乃氏+CR研究会メンバー

内容：「解説：CR教育とは」「学習環境づくり」「対立の概念」「ウィン・ウィン解決法」「いろいろな気持ち」「ふりかえり」など。

各種講座

a)「開発教育入門講座」

開発教育の基礎的理解を目的とした入門講座を毎月計12回約200名の参加者を得て開催した。

b) NHK「地球データマップ」授業活用セミナー

NHK教育番組で放送された「地球データマップ」の授業での活用をテーマとしたNHK主催の標記セミナーの企画運営に協力した。

c)「グローバル・エクスプレス」自主講座

2003年度に発行した時事問題をテーマとした教材『グローバル・エクスプレス』に関する情報発信や研究活動を、自主講座の形で実施した。

他団体との共催・協力事業

「地球市民アカデミア・ファンド」の事務局業務をはじめ、「仏教NGOネットワーク」の研修事業を受託した他、他団体が主催する16件の事業を後援した。

a) 第14期「地球市民アカデミア」

第14期を迎える「地球市民アカデミア」を後援するとともに、同修了生の事後活動を支援する目的で設置された「地球市民アカデミア・ファンド」の事務局業務を受託した。

b) 仏教NGOネットワーク研修事業

仏教NGOネットワーク(BNN)が実施している宗門系大学向け授業・講座や社会教育活動の指導者研修の企画運営に協力し、これを受託事業として実施した。

c) 立教大学ESD研究センターとの協働事業

次のような同センターの主催事業等の実施に際して、企画運営や編集翻訳などの形でこれに共催・協力した。

公開講演会「米国の対立解決教育～ニューヨーク市の公立学校におけるソーシャル・エモーショナル・ラーニング(SEL)の推進」

日時：8月6日(月)14:00～16:00

場所：立教大学「太刀川記念館」多目的ホール

講師：トム・ロドリック氏(Morningside Center 事務局長)

公開講演会「アジアにおける市民主体の持続可能な社会づくり」

日時：10月19日(金)14:00～16:00

場所：立教大学太刀川記念館1階会議室

講師：Jo Hann Tan(ジョ・ハン・タン)氏
(SEAPCP設立者、NGO PERMAS代表)

公開シンポジウム「日・タイESD環境教育シンポジウム」

日時：10月21日(日)14:00～17:00

場所：立教大学ス太刀川記念館3階多目的ホール

講師：ワサン・チョムパクディ氏(チェンマイ大学教授)、飯島博氏(NPO法人アサザ基金代表理事)、阿部治氏(立教大学ESD研究センター長)

司会：田中治彦氏(立教大学ESD研究センター運営委員)

公開セミナー「タイにおける参加型開発の現状と参加型学習の課題」

日時：11月27日(火)18:30～20:30

場所：立教大学「太刀川記念館」1階会議室

講師：米井慎一氏(学習院初等科教諭、開発教育協会企画推進委員)

司会：田中治彦氏(立教大学ESD研究センター、開発教育協会代表理事)

公開セミナー「東南アジアにおける持続可能な社会づくりとコミュニティ・オーガナイザーの役割～SEAPCP Community Organizer Course 報告会」

日時：2008年1月23日(水)18:30～20:30

場所：立教大学「太刀川記念館」1階会議室

講師：西 あい氏((特活)開発教育協会)

ハンドブック『Get Organized(日本語版)オーガナイジングって何だろう これまでの活動を振り返って』の共同発行

東南アジア各地で活動するコミュニティ・オーガナイザーのネットワーク団体であるSEAPCP(South East Asia Popular Communications Programme)が2003年に発行したハンドブック"Get Organized!"を当会と立教大学ESD研究センターで共同発行した。

ESD実践教材集『足元から考える私たちの社会』の編集協力

ESD研究センターが京都の開発教育研究会に委託して発行した標記教材集の編集に際して、当会がこれに協力した。

処務の概要

1：会員に関する事項

2008年3月末現在の会員数は、次の通り。ただし、括弧内は昨年末比の数字。

正会員 団体 26団体（ - 1団体）
個人 428名（ + 3名）

賛助会員 団体 17団体（ - 1団体）
個人 238名（ - 11名）
（内学生会員：54名）（ - 3名）

<参考> 団体会員 43団体（ - 2団体）
個人会員 666名（ - 8名）

2：役員に関する事項

（註：役員は個人の立場で当会の運営に参加しており、括弧内は本人の勤務先や所属先等を参考までに紹介するものです。）

<代表理事>

田中治彦（立教大学）

<副代表理事>

岩崎裕保（帝塚山学院大学）

臼井香里（開発教育を考える会 / 公立中学校教員）

<常任理事>

上條直美（立教大学ESD研究センター）

福澤郁文（(特活)シャプラニール=市民による海外協力の会）

山西優二（早稲田大学）

<理事>

石川一喜（拓殖大学国際開発教育センター）

風巻 浩（かながわ地球市民ネットワーク / 県立高校教員）

川村宏義（あおもり開発教育研究会 / 県立高校教員）

木下理仁（かながわ開発教育センター）

佐藤友紀（府立高校教員）

重田康博（宇都宮大学）

土橋泰子（(社)青年海外協力協会）

藤野達也（(財)PHD協会）

丸谷士都子（(特活)地球の木）

三宅隆史（(社)シャンティ国際ボランティア会）

湯本浩之（(特活)開発教育協会）

<監事>

荒川純太郎（共生庵・地球市民共育塾）

山崎唯司（JICA地球広場）

<評議員>

浅井杏子（DEARユース / 大学生）

阿部眞理子（(特活)国際ボランティアセンター山形）

磯田厚子（(特活)日本国際ボランティアセンター / 女子栄養大学）

磯野昌子（大学非常勤講師）

大江浩（(社)日本キリスト教海外医療協力会）

小貫仁（拓殖大学国際開発研究所）

加藤英嗣（公立小学校教員）

上久保昭二（(財)日本YMCA同盟）

黒田貴史（明石書店）

小泉雅弘（北海道開発教育ネットワーク / さっぽろ自由学校「遊」）

坂山英治（国際理解の風をつくる会 / 公立小学校教員）

佐久間智子（(特活)「環境・持続社会」研究センター）

杉澤経子（東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター）

佐渡友哲（日本大学）

田島伸二（ICLC国際識字文化センター）

玉城直美（沖縄NGO活動推進協議会）

中野民夫（博報堂）

根石修（いしかわ地球市民を考える会 / 県立高校教員）

奈良崎文乃（国際NGO職員）

早川信夫（日本放送協会）

半田好男（開発教育ネットワーク / 県立高校教員）

ブイ・チ・トルン（愛知淑徳大学）

藤原孝章（神戸開発教育研究会 / 同志社女子大学）

本田徹（(特活)シェア = 国際保健協力市民の会）

増子建（(社)協力隊を育てる会）
松本智量（(特活)アークス＝仏教国際協力ネット
ワーク）
三輪敦子（ユニフェム大阪）
諸英樹（ニュー・インターナショナルリスト）
山木敦子（埼玉NGOネット）

<顧問>

平田哲（(特活)アジアボランティアセンター）
宮崎幸雄（(財)ロータリー米山記念奨学会）
米田伸次（国際理解教育学会）

地域コーディネーター

（理事または評議員を兼任）

北海道 小泉雅弘（北海道開発教育ネットワー
ク）
東北 川村宏義（あおもり開発教育研究会）
関東甲信越 半田好男（開発教育ネットワーク）
北陸 根石修（いしかわ地球市民を考える会）
東海 プイ・チ・トルン（愛知淑徳大学）
関西 佐藤 友紀（府立高校教員）
中国 荒川 純太郎（地球市民共育塾）
四国 <空 席>
九州沖縄 玉城直美（沖縄NGO活動推進協議
会）

3：会員総会に関する事項

2007年度定期会員総会

と き：5月27日（土）

ところ：富坂キリスト教センター1号館会議室
（東京・小石川）

議 案：

- 第1号議案 2006年度事業報告および収支報
告について
第2号議案 2007年度事業計画および収支予
算について

4：理事会に関する事項

第1回理事会

と き：5月27日（土）

ところ：富坂キリスト教センター1号館会議室

議 案：

<協議>

- 1) 正副代表理事および常任理事の選任について
2) その他

第2回理事会

と き：10月27日（土）

ところ：富坂キリスト教センター2号館会議室

議 案：

<報告>

- 1) 上半期の事業報告・収支報告について
2) 下半期の主な事業予定について

<協議>

- 3) DEARの「ミッション・中期方針」について
4) 次期役員選考について
5) 事務局人事について
6) そのほか

第3回理事会

と き：2月29日（金）

ところ：富坂キリスト教センター2号館会議室

議 案：

<協議>

- 1) 2007年度の事業報告・収支報告について
2) 「中期3カ年計画」について
3) 2008年度の事業計画原案・収支予算原案に
ついて
4) 次期評議員候補者の選考について
5) 2008年度の事務局体制および事務局人事に
ついて

第4回理事会

と き：4月26日（土）

ところ：富坂キリスト教センター2号館会議室

議 案：

<協議>

- 1) 2007年度の事業報告案・会計報告案について
2) 「中期3カ年計画（案）」について
3) 2008年度の事業計画案・収支予算案について
4) 2008年度役員改選および組織体制について
5) 2008年度会員総会について

5．評議員会に関する事項

第1回評議員会

と き：12月22日（土）

ところ：JICA地球ひろば

議 案：

- 1) 報 告：DEARの組織概要および事業概要
について
2) 協 議：
DEAR「中期方針案」について
役員改選および「理事候補者選考委員会」の設

置ならびに同委員の選任

6. 各種委員会に関する事項

本年度は、次のような各種委員会が理事会内に設置され、当会の運営や事業に関する協議を行った。

1) ミッション検討委員会(中期方針検討委員会)

委員: 阿部秀樹 / 石川一喜 / 上條直美 / 佐藤友紀 / 田中浩平 / 向井一朗 / 米井 慎一

2) 次期評議員候補者選考委員会

委員: 上條直美 / 木下理仁 / 重田康博 / 湯本浩之

3) 「教育のゆめ基金」運営委員会

委員: 白井香里 / 風巻浩 / 阿部秀樹

4) DEAR大阪運営委員会

委員長: 藤野達也

委員: 荒川共生 / 岩崎裕保 / 岡佑里子 / 佐藤友紀 / 談儀善弘 / 中江淳子 / 仲川順子 / 榛木恵子 / 山中信幸 / 三輪敦子

また、評議員会内には、次の委員会が設置された。

5) 次期理事候補者検討委員会

委員: 大江浩 / 黒田貴史 / 佐渡友哲 / 三輪敦子

7: 企画推進委員会および企画推進会議に関する事項

(注: 企画推進委員は個人の立場で当会の運営に参加しており、括弧内は本人の勤務先や所属先等を参考までに紹介するものです。)

1) 企画推進委員会

委員長: 阿部秀樹(会社員)

副委員長: 田中浩平(団体職員)

委員: 浅井杏子(大学生) / 石川一喜(拓殖大学国際開発教育センター) / 猪股雄輝(公立小学校教員) / 清水千絵(国際協力NGO職員) / 木下理仁(かながわ国際開発センター) / 向井一朗(国際協力機構) / 米井慎一(私立小学校教員)

2) 企画推進会議

第1回企画推進会議 6月20日(火)

ところ: 富坂キリスト教センター2号館会議室

第2回企画推進会議 7月18日(水)

ところ: 富坂キリスト教センター2号館会議室
第3回企画推進会議 9月20日(木)

ところ: 富坂キリスト教センター2号館会議室
第4回企画推進会議 11月9日(金)

ところ: 富坂キリスト教センター2号館会議室
第5回拡大企画推進会議 2月16日(土)

ところ: JICA地球ひろば会議室

8: プロジェクト・チームに関する事項

本年度は、以下のようなプロジェクト・チームが企画推進委員会内に設置され、各事業や活動の企画運営にあたった。

開発教育研究会

a) 「ESDカリキュラム」部会(リーダー: 小貫仁)

b) 「紛争解決教育研究会」部会

第25回「開発教育全国研究集会」実行委員会
「25周年記念事業」実行委員会

研究誌「開発教育」編集委員会(編集長: 山西優二)

会報「DEARニュース」編集委員会(リーダー: 阿部秀樹)

会員メーリングリスト(リーダー: 出口雅子)

教材「ケータイの一生」(リーダー: 吉田里織)

「開発教育入門講座」(リーダー: 向井一朗)

「グローバル・エクスプレス」(リーダー: 石川一喜)

「DEARユース」(代表: 浅井杏子)

9: 職員に関する事項

<事務局>

事務局長 湯本浩之(有給・非専従)

2008年3月末をもって退職

事務局次長 中村絵乃(有給・専従)

事務局長補佐 西あい(有給・専従)

事業担当 八木亜紀子(有給・非専従)

2007年10月に採用

経理主任 若松陽子(有給・非専従)

2008年3月末をもって退職

嘱託 大久保美智彦(有給・専従)

<大阪事務所>

所長 岩崎 裕保(無給・非専従)

次長 佐藤 友紀(無給・非専従)

10：インターンに関する事項

今年度に受け入れを行ったインターンは次の通り。

松山孝典（千葉大学4年、2007年6月～2007年
10月）

田中絢也（社会人、2007年6月～2007年8月）

以 上

資料編

< 資料 1 > 出版・編集・取材協力 など

< 単行本 >

『E S D (持続可能な開発のための教育) 実践教材集 足下から考える私たちの社会』

発行：立教大学 E S D 研究センター

協力内容：編集協力 / 湯本浩之 (事務局員)

< 雑誌 >

「食農教育」

発行：(社) 農村漁村文化協会 (2007 年 7 月号、9 月号、11 月号、2008 年 1 月号)

企画・取材協力：「授業で使える 食べもの・環境教材」 / 中村絵乃 (事務局員)

< 新聞 >

朝日新聞 (2007 年 12 月 30 日)

題目：「落第忍者乱太郎の学問のススメ Q 開発教育って何するの？」

内容：開発教育の概要について中村絵乃 (事務局員) へのインタビュー

社会新報 (2008 年 2 月 6 日)

題目：「100 人の村の未来を語ろう～ダグラス・ラミスさんを迎えて」

内容：25 周年記念事業について

< ニュースレター >

かながわ国際交流財団 Newsletter

発行：(財) かながわ国際交流財団

取材協力：「かながわのキーパーソン」 / 湯本浩之 (事務局員)

< ブックレット >

『やってみよう！市民学習 生徒のためのガイドブック』(2008 年 3 月発行)

発行：東京ボランティア・市民活動センター

協力内容：取材協力

< 寄稿 >

チャイルド・リサーチ・ネット <http://www.crn.or.jp/LIBRARY/NY/index.html>

(2007 年 6 月～8 月、全 5 回)

発行：Child Research Net

寄稿：『アメリカの「対立から学ぶ教育」～誰もがピースメーカーになれる教育実践』中村絵乃 (事務局員)

M I F A NEWS (2008 年 3 月号)

発行：守谷市国際交流協会

寄稿：『世界と私たちのつながりを学ぶ～公正な地球社会の実現のために』西 あい (事務局員)

< 資料 2 > 「講師派遣」の実績一覧

(83件 152回)

- 1「オリエンテーションゼミ」(2007.5.9-30/計7回)
主催：亜細亜大学 国際関係学部
内容：新・貿易ゲーム
対象：大学1年生
派遣者：湯本浩之(事務局長)・中村絵乃(事務局員)・西あい(事務局員)
- 2「世界フェア・トレードデイ」(2007.5.10/計2回)
主催：(株)フェア・トレードカンパニー
対象：小学生・親子
内容：100人村ワークショップほか
派遣者：中村絵乃(事務局員)・吉川由里子(ボランティアチーム)
- 3「第18回青年海外協力隊体験入隊」(2007.5.13)
主催：社団法人 駒ヶ根青年会議所
内容：命を守る水
対象：中学生
派遣者：湯本浩之(事務局長)
- 4「平成19年度湘南国際村高校国際教育支援事業」(2007.5.29-6.5/計4回)
主催：財団法人 かながわ国際交流財団
内容：地球家族・新・貿易ゲーム
対象：高校生
派遣者：中村絵乃(事務局員)・西あい(事務局員)
- 5「大田国際交流週間2007」(2007.6.2)
主催：大田国際交流週間2007実行委員会
内容：新・貿易ゲーム
対象：小学生とその親
派遣者：西あい(事務局員)
- 6「東京私教連第46次教育研究会」(2007.6.3)
主催：東京私立学校教職員組合連合
内容：100人村ワークショップなど
対象：教員
派遣者：中村絵乃(事務局員)
- 7「対立から学ぶワークショップ」(2007.6.9)
主催：開発教育 FUN CLUB
内容：対立解決教育
対象：教員・一般
派遣者：中村絵乃(事務局員)
- 8「福祉学部ゼミ」(2007.6.14)
主催：立正大学
内容：100人村ワークショップ
対象：大学生
派遣者：西あい(事務局員)
- 9「鎌倉女学院FW国際セミナー」(2007.6.16/計4回)
主催：財団法人かながわ国際交流財団
内容：レヌカの学び・パーム油
対象：高校生
派遣者：中村絵乃(事務局員)・西あい(事務局員)・青山ゆい(ボランティア)・吉田由里子(ボランティア)
- 10「校内職員研修」(2007.6.18、7.27/計2回)
主催：茨城市立安威小学校
内容：Needs&Wants・フォトランゲージ・子どもの権利など
対象：教員
派遣者：佐藤友紀(理事)
- 11「東京都東部種宗務所教師大会研修会」(2007.6.18)
主催：日蓮宗
内容：100人村ワークショップ
対象：僧侶
派遣者：中村絵乃(事務局員)
- 12「平成19年度国際理解指導者研修会」(2007.6.23)
主催：(財)福島県国際交流協会、JICA二本松
内容：開発教育概論
対象：教員
派遣者：小貴 仁(理事)
- 13「NCC基礎講座」(2007.6.25/計2回)
主催：大正大学
内容：100人村ワークショップ
対象：大学生
派遣者：中村絵乃(事務局員)・西あい(事務局員)
- 14「ネットワーク市民セミナー」(2007.6.30)
主催：大阪市立難波市民学習センター
内容：100人村ワークショップ
対象：一般・学生
派遣者：佐藤友紀(理事)
- 15「教員研修」(2007.7.9)
主催：甲南中学・高等学校
内容：パーム油
対象：教員
派遣者：荒川共生(大阪運営委員)
- 16「ぐんま未来塾」(2007.7.15)
主催：群馬県教育委員会
内容：地球家族
対象：高校生
派遣者：西あい(事務局員)
- 17「羽曳野市外教夏期研修」(2007.7.24)
主催：羽曳野市在日外国人教育研究協議会
内容：子どもの権利
対象：教員
派遣者：佐藤友紀(理事)
- 18「環境ワークショップ 地球にやさしく暮らそう、みんなの好きな食べ物はどこから来るの」(2007.7.25、28/計2回)
主催：JICA 地球ひろば
内容：パーム油 など
対象：親子・一般
派遣者：向井一郎(企画推進委員)
- 19「第7回湘南国際村青少年国際セミナー」(2007.7.26-27/計3回)
主催：財団法人かながわ国際交流財団
内容：異文化理解フォトランゲージ・地球データマップ「飢餓と飽食」他
対象：高校生
派遣者：西あい(事務局員)・本山明(ボランティア)
- 20「人権教育研修講座」(2007.7.30-31/計2回)
主催：尼崎市教育委員会
内容：人権ワークショップ・異文化理解
対象：教員
派遣者：佐藤友紀(理事)
- 21「教職員のための夏季教育講座」(2007.8.1)
主催：神奈川県高等学校教育会館
内容：援助する前に考えよう
対象：教員
派遣者：湯本浩之(事務局長)
- 22「吹田市教職員研修ステップアップ研修」(2007.8.1)
主催：吹田市教育委員会
内容：レヌカの学び・多文化共生
対象：教員

- 派遣者：佐藤友紀（理事）
- 23「多言語多文化共生学講座Ⅰ」（2007.8.1 / 計2回）
主催：東京外国語大学
内容：異文化理解・学習プログラム作り
対象：大学生
派遣者：西あい（事務局員）
- 24「光華女子大学夏季集中講義」（2007.8.6）
主催：光華女子大学・関西 NGO 協議会
内容：100人村ワークショップ
対象：大学生
派遣者：佐藤友紀（理事）
- 25「開発教育指導者研修会第1回」（2007.8.10 / 計2回）
主催：JICA 帯広
内容：開発教育教材づくり・教材体験
対象：教員
派遣者：山西優二（理事）
- 26「国際教育セミナー」（2007.8.11）
主催：JICA 大阪、大阪府国際交流財団（OFIX）
内容：100円ショップWS・開発教育入門
対象：教員
派遣者：友前尚子（大阪運営委員）
- 27「開発教育指導者研修会」（2007.8.14-15 / 計2回）
主催：JICA 沖縄・沖縄 NGO 活動推進協議会
内容：開発教育ワークショップ・教材づくり
対象：教員
派遣者：中村絵乃（事務局員）
- 28「ファシリテーター養成講座」（2007.8.16-8.17 / 計2回）
主催：沖縄 NGO 活動推進協議会
内容：対立解決教育ワークショップ
対象：教員・一般
派遣者：中村絵乃（事務局員）
- 29「国際理解のための指導者セミナー」（2007.8.22）
主催：（財）日本ユニセフ協会埼玉県支部・（財）埼玉県国際交流協会
内容：100人村ワークショップ
対象：教員
派遣者：綿谷亜希（ボランティアチーム）
- 30「開発教育セミナー 第3回」（2007.9.15-16 / 計2回）
主催：関西セミナーハウス・京都開発教育研究会
内容：対立解決教育ワークショップ
対象：教員・一般
派遣者：中村絵乃（事務局員）
- 31「平和ワークショップ」（2007.9.24）
主催：平和ネットワーク草加
内容：Talk for Peace
対象：一般
派遣者：木下理仁（理事）
- 32「人権啓発推進研修」（2007.9.25）
主催：大阪市城東区人権啓発推進会
内容：援助する前に考えようナパール編
対象：城東区人権推進員
派遣者：佐藤友紀（理事）
- 33「総合の時間」（2007.9.26）
主催：豊島区立仰高小学校
内容：100人村ワークショップ
対象：小学生
派遣者：西あい（事務局員）
- 34「姫路市男女共同参画市民企画支援事業」（2007.9.29）
主催：ジェンダー教育研究会
内容：ジェンダーワークショップ
対象：中高生・一般市民
派遣者：佐藤友紀（理事）
- 35「第2回シンポジウム『若者に期待する“市民力” - 市民教育とグローバル教育の必要性』（2007.9.29）
主催：日本 YMCA 同盟
内容：シンポジウム パネリスト
対象：一般
派遣者：湯本浩之（事務局員）
- 36「リユース・リサイクルで海外支援」（2007.10.3,4 / 計2回）
主催：（特活）WE21 ジャパン
内容：新・貿易ゲーム
対象：WE ショップマネージャー
派遣者：丸谷士都子（理事）
- 37「土曜学校 世界を知る会」（2007.10.6）
主催：武蔵野市教育委員会
内容：カレーワークショップ・調理実習
対象：小学生
派遣者：向井美香子（ボランティア）
- 38「龍谷大学 国際 NGO 論」（2007.10.10）
主催：龍谷大学・関西 NGO 協議会
内容：100人の村ワークショップ
対象：大学生
派遣者：佐藤友紀（理事）
- 39「港区ヒューマンハート・人権セミナー」（2007.10.11）
主催：港区人権啓発推進協議会
内容：100人村ワークショップ
対象：区民（PTA、人権推進員）
派遣者：佐藤友紀（理事）
- 40「老荘セミナー『コミュニケーション講座』」（2007.10.12）
主催：武蔵野市教育委員会
内容：コミュニケーションワークショップ
対象：60歳以上の市民
派遣者：湯本浩之（事務局員）
- 41「家庭科研究会秋季研修会」（2007.10.16 / 計3回）
主催：大阪府高等学校家庭科研究会
内容：パーム油、貿易ゲーム、まちづくりWS
対象：教員
派遣者：荒川共生（大阪運営委員）・浜本裕子・藤井久美子（ボランティア）
- 42「依羅（よさみ）小学校人権啓発主催行事」（2007.10.20）
主催：大阪市依羅小学校 PTA 人権啓発委員会
対象：小学校中学年～大人
内容：100人村ワークショップ
派遣者：佐藤友紀（理事）
- 43「第34回『東南アジア青年の船』事業・課題別視察国際関係コース」（2007.10.24）
主催：（財）青少年国際交流推進センター
内容：東南アジア・日本の青年
派遣者：中村絵乃（事務局員）・八木亜紀子（事務局員）
- 44「兵庫フェアトレード セミナー」（2007.10.28）
主催：フェアトレードひょうごネット
内容：フェア・トレードワークショップ
対象：一般
派遣者：佐藤友紀（理事）
- 45「総合講座『地球市民をめざす』」（2007.10.30,11.6 / 計2回）
主催：明治大学 情報コミュニケーション学部
内容：開発教育概論
対象：大学生

- 派遣者：西あい(事務局員)
- 46「国際化ワークショップ」(2007.11.4)
主催：守谷市国際交流協会
内容：パーム油
対象：高校生以上
派遣者：西あい(事務局員)
- 47「ボアノイチあすばる(ワークショップ講座)」
(2007.11.13)
主催：(社)甲賀・湖南人権センター
内容：ちがいのちがいの食べ物編・チョコレートWS
対象：教員
派遣者：佐藤友紀(理事)
- 48「研究授業」(2007.11.15)
主催：関西大倉学園中学校
内容：100人村ワークショップ
対象：中学生
派遣者：荒川共生(大阪運営委員)
- 49「2007年度家庭科研究部第2回部会」(2007.11.17)
主催：東京都私立初等学校協会・家庭科研究部
内容：開発教育基礎講座
対象：家庭科教員
派遣者：湯本浩之(事務局長)
- 50「国際講座」(2007.11.20)
主催：東京医業専門学校
内容：平和ワークショップなど
対象：専門学生
派遣者：木下理仁(理事)
- 51「国際教育ワークショップ」(2007.11.23)
主催：和歌山県高等学校国際教育研究会
内容：パーム油
対象：高校生以上
派遣者：荒川共生(大阪運営委員)
- 52「国際協力特殊講義」(2007.11.26)
主催：東洋英和女学院大学大学院
内容：開発教育概論
対象：大学院生
派遣者：湯本浩之(事務局長)
- 53「国際理解教育プログラム」(2007.12.3)
主催：広島県立広高等学校・(株)トップツアー 広島支店
内容：100人村ワークショップなど
対象：高校生
派遣者：上條直美(理事)
- 54「JICA-NGO 連携による実践的参加型村落開発コース」
(2007.12.3-4 / 計2回)
主催：JICA 大阪・関西 NGO 協議会
内容：紛争解決ワークショップ
対象：各国の研修員
派遣者：中村絵乃(事務局員)
- 55「仏教社会福祉講座」(2007.12.4)
主催：立正大学社会福祉学部
内容：地球データマップ「飽食と貧困」
対象：大学生
派遣者：湯本浩之(事務局長)
- 56「NCC 基礎講座」(2007.12.10 / 計2回)
主催：大正大学
内容：100人村ワークショップ
対象：大学生
派遣者：中村絵乃(事務局員)・西あい(事務局員)
- 57「大阪私企業人権推進協議会 5区支部幹事経験交流会」
(2007.12.12)
- 主催：大阪私企業人権推進協議会 城東区支部
内容：パーム油
対象：各企業の人権担当者
派遣者：荒川共生(大阪運営委員)
- 58「高校生のための国際理解教育セミナー」(2007.12.25-26 / 計2回)
主催：東京外国語大学
内容：地球家族
対象：高校生
派遣者：西あい(事務局員)
- 59「開発教育指導者研修会第2回」(2007.12.27-28 / 計3回)
主催：JICA 帯広
内容：ワークショップ・授業案作り
派遣者：石川一喜(理事)
- 60「YMCA 英語キャンプ」(2007.12.28)
主催：(財)日本 YMCA 同盟
内容：100人村ワークショップ
対象：中学生・高校生
派遣者：中村絵乃(事務局員)
- 61「平成 19 年度四日市市立教育センター教職員研修事業 参加型人権研修」(2008.1.7 / 計2回)
主催：四日市市立教育センター
内容：100人村ワークショップ・子どもの権利WS
対象：教員
派遣者：佐藤友紀(理事)
- 62「『私にできること～国際交流はじめの一歩』高校生・大学生・留學生のための青少年国際交流フォーラム」
(2007.1.19)
主催：独立行政法人 国立青少年教育振興機構
内容：100人村ワークショップ
対象：高校生・大学生・留學生
派遣者：中村絵乃(事務局員)
- 63「WE 21 ジャパン県央地区 WE 講座」(2008.1.26)
主催：(特活)WE 21 ジャパン
内容：新・貿易ゲーム
対象：WE ショップのボランティア・代表など
派遣者：木下理仁(理事)
- 64「コミュニケーションワークショップ『オリンピックから世界を知ろう』」(2008.1.27)
主催：所沢こどもルネサンス実行委員会
内容：グローバル・エクスプレス
対象：小・中学生・親子
派遣者：八木亜紀子(事務局員)
- 65「国際交流・協力ボランティア国際理解教育養」(2008.1.30)
主催：千葉国際交流センター
内容：国際理解教育講座
対象：一般
派遣者：湯本浩之(事務局長)
- 66「中野西高校英語科講演会」(2008.1.31 / 計2回)
主催：長野県中野西高校英語科
内容：100人村ワークショップ
対象：高校生
派遣者：中村絵乃(事務局員)
- 67「ワンワールドフェスティバル」(2008.2.2)
主催：ワンワールドフェスティバル実行委員会
内容：フェア・トレードワークショップ(チョコ・バナナ・コーヒー)
対象：一般
派遣者：佐藤友紀(理事)
- 68「国際理解ウィーク」(2008.2.5)
主催：東京都立大森高校

内容：新・貿易ゲーム
対象：高校生
派遣者：綿谷亜希（ボランティア）・吉川由里子（ボランティア）

69「開発教育参加型学習をやってみよう！」(2008.2.14)
主催：東京学芸大学 環境教育実践施設
内容：パーム油など
対象：大学生
派遣者：中村絵乃（事務局員）

70「みと弘道館大学 東湖塾『人権講座』」(2008.2.20)
主催：水戸市教育委員会・みと好文カレッジ
内容：100人村ワークショップ
対象：公民館職員
派遣者：西あい・八木亜紀子（事務局員）

71「みと弘道館大学 東湖塾『人権講座』」(2008.2.20,21/計7回)
主催：水戸市教育委員会・みと好文カレッジ
内容：100人村ワークショップ
対象：小学生
派遣者：中村絵乃・西あい・八木亜紀子（事務局員）

72「代々木の森で情報交流～青少年国際交流担当」(2008.2.23)
主催：(独)国立青少年教育振興機構
内容：地球家族 他
対象：国際交流事業担当者
派遣者：西あい（事務局員）

73「大阪市人権教育研修」(2008.2.26)
主催：大阪市北地区人権教育推進委員会
内容：ちがいのちがいの（食べ物編）
対象：教員
派遣者：佐藤友紀（理事）

74「国際理解講座」(2008.2.27)
主催：立命館宇治高校
内容：援助する前に考えよう
対象：教員・高校生
派遣者：佐藤友紀（理事）

75「滋賀県教職員組合甲賀支部 甲南ブロック統一活動」(2008.2.28)
主催：滋賀県教職員組合甲賀支部甲南ブロック
内容：100人村ワークショップ
対象：教員
派遣者：佐藤友紀（理事）

76「第13回研修セミナー」(2008.3.3)
主催：仏教NGOネットワーク

内容：対立解決ワークショップ（スリランカ）
対象：仏教関係者
派遣者：中村絵乃（事務局員）

77「第2回国際教育主任研修会」(2008.3.4)
主催：さいたま市教育委員会
内容：地球家族
対象：教員
派遣者：西あい（事務局員）

78「国際交流スプリングフェスティバル ひめじ地球市民教室」(2008.3.9)
主催：ひめじ発世界
内容：パーム油
対象：小学生～一般
派遣者：荒川共生（大阪運営員）

79「国際関係合同ゼミナール」(2008.3.12)
主催：神戸学院大学法学部
内容：ケータイの一生
対象：大学生
派遣者：西あい（事務局員）

80「第9回湘南国際村青少年国際セミナー」(2008.3.22-23/計2回)
主催：(財)かながわ国際交流財団・湘南国際村学術研究センター
内容：地球家族 他
対象：高校生
派遣者：西あい（事務局員）

81「JICA 大阪高校生国際協力実体験スプリングセミナー」(2008.3.24-26/計4回)
主催：JICA 大阪
内容：開発教育ワークショップ
対象：高校生
派遣者：荒川共生（大阪運営委員）・佐藤友紀（理事）

82「第10回湘南国際村青少年国際セミナー」(2008.3.26-27/計2回)
主催：(財)かながわ国際交流財団・湘南国際村学術研究センター
内容：異文化理解フォトランゲージ 他
対象：高校生
派遣者：西あい（事務局員）

83「総合教育演習」(2007.9.25-2008.1.29/計26回)
主催：横浜市立大学
内容：開発教育ワークショップ
対象：大学生
派遣者：中村絵乃（事務局員）

< 資料3 > 「名義後援」の実績一覧

(計:16件)

武蔵野市国際交流協会 「夏期教員ワークショップ」(2007年7月25日～27日)

かながわ開発教育センター 「ワークショップ道場(入門編)」(2007年7月28日～29日)

タイム(とっとり国際交流連絡会) 「ワールドゲーム」(2007年5月27日)

第14期地球市民アカデミア運営委員会 「第14期地球市民アカデミア」(2007年度)

社団法人 協力隊を育てる会 「第16回開発教育全国集会 in 山梨」(2007年8月18日～19日)

NPOいきいき小豆島 「第4回 小豆島ワールド・ピース・キャンプ」(2007年7月21日～23日)

日本YMCA同盟

シンポジウム「若者に期待する“市民力” - 市民教育とグローバル教育の必要性」(2007年9月29日)

かながわ開発教育センター 「参加型学習教材セミナー」(2007年9月29日～30日)

かながわ開発教育センター 「ワークショップ道場(入門編)」(2007年11月17日～18日)

東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター

「多文化協働実践研究・全国フォーラム(第1回)」(2007年12月1日～2日)

財団法人 滋賀県国際協会 「平成19年度 国際理解教育ワークショップ」(2008年1月19日)

立正佼成会青年本部 「青年の日」(2008年5月18日を中心に)

特定非営利活動法人 TICAD市民社会フォーラム 「アフリカ・エッセイコンテスト」(2008年度)

かながわ開発教育センター 「ワークショップ道場(入門編)」(2007年5月24日)

財団法人 日本クリスチャンアカデミー 「2008年度 開発教育セミナー」(2008年度)

特定非営利活動法人 APEX

「APEX創立20周年記念セミナー『アジア・適正技術・代替社会』」(2007年10月27日～28日)

以上